

大分県連 青年部会連絡協議会

第29回大分県青年の集い日田玖珠大会

河野大会実行委員長

今年の大分県青年の集いは、日田玖珠法人会が主管法人会となり10月6日(金)にマリエールオークパインにおいて、開催されました。

コロナ前の通常開催となり県内外から200名の会員が参加し盛大に開催されました。

佐藤辰次部会長のあいさつで第1部の「集い」が開会され、主催者、来賓の挨拶に続き、第2部の「租税教育プレゼンテーション」では、ブロック代表の3法人会が発表、臼杵津久見法人会が優勝し、南九



「集い」開会式典

連大会への切符を手にしました。

記念講演では、玖珠町出身で東京青山を拠点にアパレル系コンサルティングを展開している(株)テクニカルジャパン代表取締役の宇山敦氏が記念講演を行いました。講演後の質疑応答では、ファンド案件などの企業の新規事業立ち上げや事業の立て直し等について質問が相次ぎました。

第4部「交流会」では、九重町出身の落語家、三遊亭好二郎氏が落語でオープニングを飾り、今回の大会実行委員長を務めた河野良太郎氏の歓迎のことば、田中会長の主管法人会会長あいさつと続き、宮原日田税務署長の乾杯で開宴となりました。アトラクションやお楽しみ抽選会が催され会場は、笑いと熱気でいっぱいとなり盛会裏に大会を閉会しました。



交流会

大分県連 女性部会連絡協議会

女性フォーラムin豊後大野

大分県連女性部会連絡協議会の女性の集いが、9月7日(木)、豊後大野市三重町のエイトピアおおのにおいて、県内から県連、単位の女性部会役員102名が参加し開催されました。

式典、各単体会活動報告のあと、「サウナを活用したまちづくりについて」と題して、(株)LAMP/LAMP豊後大野支配人 高橋ケン氏による講演がありました。地域の魅力発掘を多角的視点と、点と点でつないでいく地方創成をモッ



女性フォーラム参加者

トーにローカル商品の企画・開発に携わっている高橋氏の話しに皆さん聞き入っていました。

歓迎会では、ご当地青年による「豊勇會」の和太鼓演奏が行われ、力強く壮大な演奏が圧巻でした。

次回開催地は、竹田法人会となります。

ごあいさつ



日田税務署長 宮原 雅史

新年あけましておめでとうございませう。

昨年の7月の定期人事異動により、熊本県の人吉税務署長から日田税務署長を拝命しました宮原でございます。

出身は熊本県熊本市で、日田税務署での勤務は初めてですが、平成20年別府税務署、平成21年からの2年間大分税務署での勤務以来、13年振り3署目の大分県内署勤務となります。「天領」「水郷」「小京都」など様々な表情を持ち、歴史と文化に溢れたこの日田の地において勤務できることを大変光栄に感じております。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げますとともに、公益社団法人日田玖珠法人会の皆様には、活発な会活動を通じ、日ごろから税務行政全般にわたり、深い御理解と格別な御協力を賜り、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、「税のオピニオンリーダー」として、幅広い活動を通じて会員の皆様の自己啓発や納税意識の高揚に努

めるとともに、様々な社会貢献活動を通じて地域社会の健全な発展にも多大な貢献をされておられます。

その中でも、青年部会の「租税教室」への講師派遣や女性部会による小学生を対象とする「税に関する絵がきコンクール」の実施といった租税教育活動など、多くの地域貢献活動に取り組みれております。これもひとえに田中会長をはじめ役員並びに会員の皆様の永年にわたる御尽力の賜物であり、心から敬意を表する次第です。

私どもといたしましては、税務行政の円滑な運営に資する法人会の活動を支援させていただくことは最も重要であると認識しております。貴会の活動がより一層充実したものとなりますように、これまで以上に皆様と連携・協調を図り、信頼・協力関係を築いてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、税務行政を取り巻く環境は、経済取引のデジタル化及びグローバル化によって、複雑かつ困難化するとともに、働き方が多様化するなど急速に変化しております。

このような中で、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たすためには、税務行政に対する納税者の皆様の理解と信頼を得ることが何よりも重要であると考えております。

国税庁におきましては、令和5年6月に「税務行政のデジタ

ル・トランスフォーメーション」税務行政の将来像2023」を公表いたしました。デジタル化を活用した、国税に関する手続、業務の在り方の抜本的な見直し及び事業者の業務デジタル化の促進に取り組み、「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現を目指しております。

私どもといたしましては、e-Taxの利便性向上やキャッシュレス納付の推進（特に、ダイレクト納付を推進してまいります）など、引き続き「納税者の利便性の向上」に向け、デジタル化を更に推進し、納税者の皆様の視点に立った各種サービスの充実に努めてまいります。

また、昨年10月から、消費税の適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度が開始されました。

これまでもあらゆる機会を捉えて、制度の円滑な開始と定着に向けて周知広報に努めてまいりましたが、制度開始後においても、制度の早期定着が図られるよう、法人会の皆様の御協力をいただきながら、周知広報や個別の寄り添った相談を丁寧に行ってまいりますので、なお一層の御理解と御協力を賜りますとともに、制度の周知、各種サービスの積極的な利用にお力添えいただきませう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、公益社団法人日田玖珠法人会の益々の御発展と、会員の皆様方の御繁栄を祈念いたしまして、私の年頭挨拶とさせていただきます。

日田税務署 人事異動のお知らせ

(令和5年7月10日付)

職名	前任者 (異動先)			後任者 (前任地)		
	氏名	部署	役職	氏名	部署	役職
税務署長	今村 博文	熊本国税局 法人課税課	課長	宮原 雅史	人吉税務署	署長
総務課長	野中 哲也	別府税務署 総務課	課長	岡本 国秀	山鹿税務署 総務課	課長
管理運営・徴収部門 統括国税徴収官	藤野 智	(留任)		藤野 智	(留任)	
個人課税第1部門 統括国税調査官	若木 祥子	(退職)		清水多美子	川内税務署 個人課税部門	統括国税 調査官
個人課税第2部門 統括国税調査官	酒井 忍	(留任)		酒井 忍	(留任)	
法人課税部門 統括国税調査官	飯塚 正明	(退職)		瀬口 淳子	大分税務署 酒類指導官	酒類指導官
総務係長	園田 佳孝	(留任)		園田 佳孝	(留任)	

税の作文の入賞作品 中学生の「税についての作文」

賞名	氏名	学校名	学年	題名
大分県教育委員会教育長賞	那須未百菜	日田市立東部中学校	3年	税金を支える社会
日田税務署長賞	たろうらゆうか 太郎良有可	日田市立大明中学校	3年	税金について考える
	なかしま あいか 中嶋 愛佳	玖珠町立くす星翔中学校	3年	税に支えられる私達の生活
日田玖珠納税貯蓄組合連合会 会長賞	井上 りこ 井上 璃子	日田市立大明中学校	3年	学校と税金
	いしまつ れんり 石松 連理	日田市立戸山中学校	3年	税と私たちの生活
日田・玖珠地区 租税教育推進協議会長賞	ざいつ けいと 財津 佳音	日田市立東有田中学校	3年	社会を支える税
	ちはら ひより 千原 陽愛	日田市立南部中学校	3年	税について
日田玖珠地区 税務連絡協議会長賞	ながお みき 長尾 美樹	日田市立東部中学校	3年	意外と身近な税金と その使い道
	あやがき ゐのり 綾垣 穂莉	日田市立東部中学校	3年	税金との向き合い方
	やすなが こうし 安永 纈司	日田市立東溪中学校	3年	税に対して考えたこと

第57回 中学生の「税についての作文」
本年度も日田玖珠管内では、中学校7校、195編とたくさん
の応募がありました。

作文の応募校数及び応募編数

大分県教育委員会
教育長賞『税金が
支える社会』

日田市立東部中学校
三年 那須未百菜

今年も多くの商品が値上げされた。賃金は上がらないので、家庭では節約を余儀なくされたり、生活が苦しくなったりと困ることになる。値上げによって、さらに税金も高くなることもある。税金にもいくつもの種類があるが、私が納めている実感があるのは、消費税だ。買い物する際、どの商品でも払わ

なければいけないのだ。みなさんも経験したことがあるのではないか。買い物した時に、百円の商品なのに、レジで表示された値段は百十円というようなことだ。これは十パーセントの消費税が含まれた値段ということだ。

生活をする中で切っても切れないのが税金の存在である。この身近な存在である消費税についてさらにインターネットで調べることになった。消費税とは「商品の販売やサービスの提供などの取引に対して課税される税」である。日本では、一九八九年の導入以来消費税率一パーセントの上下で約三・六兆円の税収が増減するということになったのである。事業者が対価を得て行う取引のほとんどは課税の対象となり、外国から商品を輸入する場合も課税されることである。普通に生活する上でもさまざまな場面で課税が行われている。そこで税金はどこに使われているのかを疑問に思い、調べることになった。年金、医療、介護、子育てに使われていることだ。身近なところで税金は使われているのだと感じた。小中学校の教科書も税金によって無償で供与されていることが書かれている。

では、税金がなくなるとどうなるのだろうか。消費税を払わなくて済むからモノが安くなる。他にもさまざまな税金がなくなつたから、家庭で自由に使えるお金が増えて、お菓子など好きなものをたくさん買ってもらえると思った。しかし、実際は違うらしい。税金がなくなると、例えば救急車を呼べばとりあえず、病院に搬送してもらえなくても、そうなるとお金を払えなければ搬送してもらえなくなる。また、通学路の信号も停止して、道路はポロポロ。ゴミ収集もなく、街中ゴミがあふれている。交通事故や災害に遭っても助けてもらうためのサービスはすべて有料なんてことになってしまうかもしれない。このように現在は当たり前前に利用しているサービスがなくなってしまうのだ。そうなると思ってしまう。常に変な困難が伴ってしまうことになる。それなら、多少負担感はあるけれど、税金を納めた方が安心して暮らせようと思う。

つまり、税金とは無駄に納めているお金ではないということが言える。確かに、さまざまな場面で税金を納めることになるが、納めている分だけ、私たちの暮らしへのサポートがある。税金は、私たちが生きやすく、より豊かに生活できるように活用されている。そのことを胸に刻んで、未来の自分、自分を取り巻く環境、暮らしやすさなどを考え、税金を納めようと思う。

賞名	氏名	学校名	学年	題名
日田税務署長賞	なかしま ひな 中島 妃那	大分県立日田三隈高等学校	3年	支え合うための税
	はせが谷 かりん 長谷 華鈴	大分県立玖珠美山高等学校	2年	なぜ税金は必要なのか
日田・玖珠地区 租税教育推進 協議会長賞	いしい あいな 石井 愛那	大分県立日田高等学校	2年	知ろうとすること
	くどう はなえ 工藤 華恵	学校法人岩尾昭和学園 昭和学園高等学校	1年	意識と義務とそれぞれの考え方
日田玖珠地区 税務連絡 協議会長賞	みずき りさ 水城 里彩	学校法人岩尾昭和学園 昭和学園高等学校	3年	暮らしの中にある税
	みうら みき 三浦 美姫	学校法人岩尾昭和学園 昭和学園高等学校	1年	税について
	あきよし さくら 秋吉 咲來	大分県立日田高等学校	2年	考えるべき課題
	むとう あやみ 武藤 彩未	学校法人日田佐藤学園 藤蔭高等学校	2年	税金の重要性

税の作文の入賞作品
「税に関する高校生の作文」

第62回「税に関する高校生の作文」
国税庁では、毎年、全国の高等学校のご協力を得て「税に関する高校生の作文」の募集を行っています。
本年度も、日田玖珠管内では、高等学校5校、338編と昨年を上回るたくさんの応募がありました。

作文の応募校数及び応募編数

はじめよう！ダイレクト納付！

ダイレクト納付とは・・・

e-Taxを利用して電子申告・徴収高計算書データの送信又は納付情報登録依頼をした後に、簡単な操作で、あらかじめ届出をした預貯金口座からの振替により、即時又は指定した期日に納付することができる便利な電子納税の手段です。

※インターネットバンキングの契約は不要です。

メリット1
全て自宅や会社で
納付が完了！



お出かけ
不要

メリット2
納付日の指定が
できて便利！



資金繰りの
調整可能

メリット3
利用に当たり
手数料は不要！



納税資金
のみでOK

ダイレクト納付の操作方法を **YouTube** で **御覧いただけます！**

ダイレクト納付利用のための事前準備 (2ステップ！)

事前準備 STEP 1 e-Taxの開始届出書の提出

e-Taxを利用するために必要な、利用者識別番号と呼ばれる「ID」を取得します。 ※ 初回手続きのみ

詳しくは
こちら →
(YouTube)



事前準備 STEP 2 ダイレクト納付利用届出書の提出

ダイレクト納付で利用する金融機関の預貯金口座等を登録します。

※ 初回手続きのみ

詳しくは
こちら →
(YouTube)

